事例No.	2169
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	北海道江差町

事例区分	DX

タグ	・ICT

事例種類	キャッシュレス

事例内容・タイトル

地域買い物カード「江差町EZOCA」を活用したポストコロナ時代の経済基盤の強化

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

189 地域買い物カード「江差町EZOCA」を活用したポストコロナ時代の経済基盤の強化【北海道江差町】

事業の概要

○ 北海道内にある企業との包括連携事業として新規発行した地域買い物カード「江差EZOCA」を全道に普及促進し、町内経済の好循環と関係人口の増加につなげ、ポストコロナ時代の経済基盤強化を図っている。



○ 町民向けの「江差EZOCA」普及促進イベントを開催し、キャッシュレス決済の浸透によるレジの待ち時間の短縮や現金への接触頻度の減少につなげ、感染予防対策を図った。

○ また、町内における地域活動の活性化と医療費や介護費の抑制につながる特定健診や介護予防教室、地域防災訓練等への参加者に対し、「江差EZOCA」ポイントを付与する取組を実施した。

○ さらに、町民にとって利便性の高い公共交通網の構築に向けた取組として、町内を実証エリアとするMaaSサービス（通称「江差マース」）の実装化に向けた実証実験を実施。「江差マース」では、「江差EZOCA」の地域還元スタイルを活用した収益循環モデルを構築し「交通」×「買い物」による地域経済の活性化を促していく。

○ 加えて、スマートフォン等のICTの活用方法を学ぶ「スマホ教室」を開催。今後、IT化が進む社会でもICTを活用した生活が送れるよう継続した取組を行っていく。

【参考情報①】 人口：0.7万人
関連URL：https://www.hokkaido-esashi.jp/modules/lifeinfo/content0904.html（町HP）

【参考情報②】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



令和２年３月にカード発行企業と包括連携協定を締結しました。それぞれの資源を活かしながら、今後ますます進む少子高齢化社会において持続可能で活力ある地域づくり、住民サービスの向上を図ることとしました。そこで、北海道内にあるEZOCAシステムにおいて、道内で最初となる地域還元型ポイントカードの導入に取り組みました。

（江差町）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



「江差EZOCA」の普及促進に当たっては、内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しました。



事業の近況を教えてください。



「江差EZOCA」は、北海道内にあるEZOCA提携店で利用することができ、たまったポイントも買い物で使うことが可能です。町内の商店（45店舗）も提携店として参加しており、使えば使うほど地域経済の活性化（地域貢献）につながり、人口約７千人の町で約5,500枚の「江差EZOCA」が発行されています。

★担当：江差町まちづくり推進課★

令和3年度事業費　1,899千円
（うち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）1,666千円）